

707 定期演奏会

The 707th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

広上淳一の
アメリカン・プログラム
京響が誇るブラスの
ファンファーレがホールに輝く

2026. **1.23** 金 **1.24** 土
Fri, Jan. 23, 2026 / 7:00PM Sat, Jan. 24, 2026 / 2:30PM
開演 午後7時 開演 午後2時30分
(午後6時開場) (午後1時30分開場)

Kyoto Concert Hall

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」下車
出口1・3番から南へ徒歩約5分

バーンスタイン：
スラヴァ! (政治的序曲)
バルトーク：
ピアノ協奏曲 第3番★
コプランド：交響曲 第3番

Bernstein: Slava! (A Political Overture)
Bartók: Piano Concerto No.3★
Copland: Symphony No.3



ピアノ：
三浦 謙司★
Piano: Kenji Miura★
©Harald Hoffmann

指揮：
広上 淳一
Conductor: Junichi Hirokami
©Masaaki Tomitori

京都市交響楽団

©京都市交響楽団

入場料 2025. 11.28 から発売

●6,000円 ●5,500円 ●4,500円 ●3,500円 ●3,000円 (舞台後方席)

U30 前売 【一般発売に併せて販売】●2,500円 ●2,000円 ●1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際に年齢の確認ができる証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご確認ください。※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。

U30 当日 【当日残席がある場合のみ発売】●2,500円 ●2,000円 ●1,500円 ●1,000円 ●1,000円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書のご提示が必要となります。※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。

金曜ペア チケット (1/23公演) ●10,000円 ●9,000円 ●8,000円

※2名様での購入がお得なチケットです。※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>、チケットカウンターで販売 (チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2026年1月16日までに京響075-222-0347へお申し込みください)

◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響075-222-0347までお問い合わせください。

◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います (窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

チケット
ご予約お問い
合わせ

●京都コンサートホール 075-711-3231 ●ロームシアター京都 075-746-3201
●24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード 280-855
●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード 52925

京都市交響楽団075-222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール075-711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業 (公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



主催：京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
協力：株式会社ドルチェ楽器 後援：(株)エフエム京都

協賛：ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



The 707th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

第707回定期演奏会

2022年3月まで14年間、京響常任指揮者をつとめた広上淳一によるアメリカン・プログラム。バーンスタインの「スラヴァ!」はムスティスラフ・ロストロポーヴィチの愛称がタイトルとなっており、彼が音楽監督だった楽団のために作曲されました。華やかな曲調の中にバーンスタインらしいひねりが効いている作品です。コーブランドの交響曲第3番は、第4楽章の冒頭で彼の有名な「市民のためのファンファーレ」が引用されています。京響プラス・セクションのサウンドにどうぞご期待ください。バルトークのピアノ協奏曲第3番は、アメリカ移住後に作曲された作品。ピアノは神戸市出身で「ロン・ティボー・クレスパン国際コンクール2019」等で優勝歴を持つ三浦謙司が登場します。詩情にあふれ、作品と真摯に向き合う三浦のピアノもお楽しみに。

指揮

広上 淳一

Conductor: Junichi Hirokami



©伊藤菜々子

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、モンテリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みとりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。近年では、ライブツヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ヒルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ラトビア国立響、ボルティモア響、シンシナティ響、ヴァンクーヴァー響、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、グルック、モーツァルトからプッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者を経て2014年4月より常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー、常任指揮者として13シーズン目の2020年4月より2022年3月まで京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。2015年には同国とともにサントリー音楽賞を受賞。現在はオーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団 フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一、京都コンサートホールミュージックアドバイザー。2025年よりマレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

ピアノ

三浦 謙司

Piano: Kenji Miura



©Simon Pauly

2019年11月アルゲリッチが審査員長を務めたロン・ティボー国際コンクールにて優勝及び3つの特別賞を獲得、新たな才能としてその名を世界に知られることになる。これまで第4回マンハッタン国際音楽コンクール金賞受賞、第1回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール優勝、2017年スタインウェイコンクールベルリン第1位をそれぞれ獲得。第9回浜松国際ピアノコンクールで奨励賞及びにAAF賞を受賞。ウィグモアホール、ベルリンコンツェルトハウス、ラジオ・フランス大ホール、浜松アクトシティの他、モスクワ国際音楽の家、東京文化会館、浜離宮朝日ホールなど世界中の数々の会場に招かれる。これまでにフランス国立管弦楽団、ウラジミール・スピヴァコフ氏率いるモスクワ・ヴィルトゥオーゾ、新日本フィル、東京交響楽団、神奈川フィル、関西フィルなどと共演。ルーヴ・ピアノ・フェスティバル、リヨン・ショパン・フェスティバル、別府アルゲリッチ音楽祭、東京・春・音楽祭など世界各地のフェスティバルから招きを受ける。1993年神戸生まれ。4歳からピアノを始め、13歳で英国政府主宰の奨学金を獲得、単独渡英しロンドン・パーセル・スクールに入学。ロジャーン・マカブ及びウィリアム・フォンのもとでピアノを学ぶ。2011年よりベルリン芸術大学にてクラウス・ヘルヴィヒ氏に師事、研鑽を積む。2012年夏、音楽家としての道を一度離れる決意をし、ベルリン芸術大学を中退。日本で様々な仕事をしながらボランティア活動にも参加。2014年、再び音楽への情熱を燃やし、ベルリン ハンス・アイスラー音楽大学に入学、エルダー・ネボルシン氏に師事。2022年11月、ワーナークラシックス・ジャパンより新アルバム《アイデンティティ》をリリース。2026年初頭、待望のセカンドアルバムを発売予定。

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリーントを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2025年度は、「王道! 斬新!」を主催公演のテーマとし、京響ならではの独自性と魅力ある公演を展開する。2026年には創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。

デ・フリーントのシュベルトとブルックナー

ブルックナーの3番は1962年の日本初演以来の演奏!

会場: 京都コンサートホール 指揮: ヤン・ヴィレム・デ・フリーント (首席客演指揮者)

2026. 2.13(金) 午後7時開演 2.14(土) 午後2時30分開演

U30(前席) ¥2,500円 ¥2,000円 ¥1,500円 金曜ペアチケット(2/13公演) ¥10,000円 ¥9,000円 ¥8,000円

曲目 シュベルト: 交響曲 第4番 短調 D.417「悲劇的」
ブルックナー: 交響曲 第3番 短調 (初稿/1873年)

入場料 ¥6,000円 ¥5,500円 ¥4,500円
¥3,500円 ¥3,000円 (舞台後方席)



©Marco Borggreve

ヤン・ヴィレム・デ・フリーント

第708回定期演奏会

2025.12/27(土) から発売!